

令和4年度 第1回わくわくワークショップ



～非認知能力を育てる環境づくり～



本ワークショップへのご参加，ありがとうございます。
ご参加いただくにあたり以下のことに留意してください。

- ①入室の際は【都道府県・所属・名前】に名前を変更してください。
（例）【香川県 附属坂出小学校 竹森 大介】
 - ②お話いただくとき以外はマイクはOFFにしてください。
 - ③録音・録画はご遠慮ください。
 - ④チャットを使ってご意見・ご質問を受け付けます。
 - ⑤飲食はご自由にどうぞ♪
- ※開始時刻17:30まで，しばらくお待ちください。

令和4年度 第1回わくわくワークショップ ～非認知能力を育てる環境づくり～



2022年8月5日
附属坂出小学校

本日の予定

17:35～18:05（30分間）

- ・非認知能力ってどんな力？どんな姿？
- ・学校の子供の姿やご自身の子供の姿とつないで考えてみましょう☆

18:05～18:50（45分間）

- ・非認知能力を育てる取組について
- ・非認知能力を育てる環境づくりについて
考えてみましょう☆

18:50～19:00（10分間）

- ・質疑応答，フリータイム，お知らせ

I 自己紹介

香川大学教育学部 准教授 岡田 涼先生

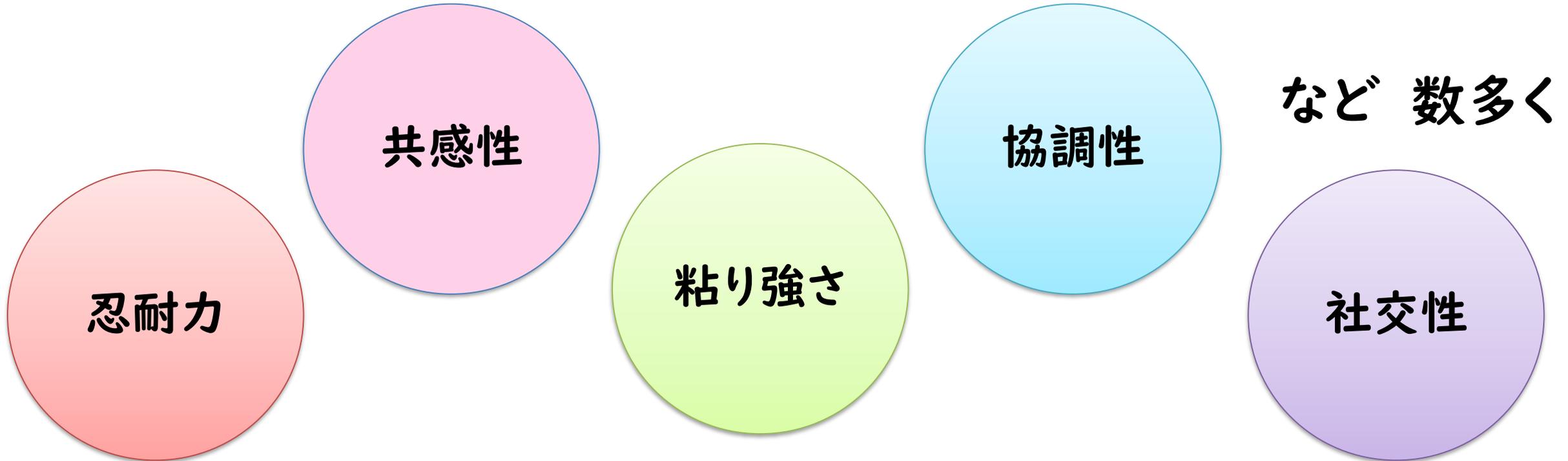
香川大学教育学部 教授 本校校長 坂井 聡



本校研究部 竹森 大介
滝井 康隆
好井 佑馬

2 非認知能力って？

漢字や計算, IQなどで測れる力ではなく,
点数にして測定することが難しい力

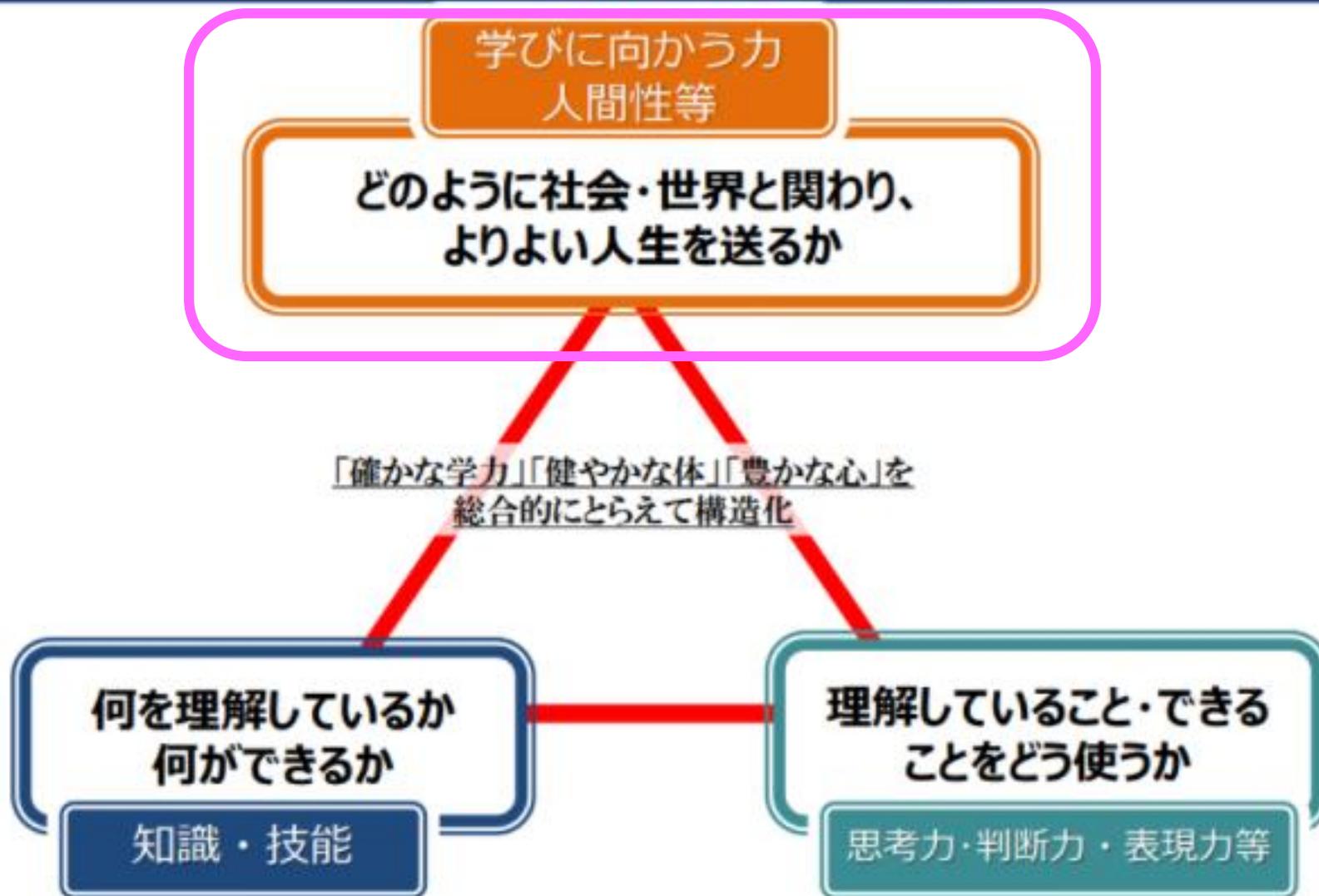


将来につながる力, 社会で成功する力

大人になってからの幸せ

学習指導要領では

育成すべき資質・能力の三つの柱





改訂に込められた思い

文部科学省HPより

学校で学んだことが、子供たちの「生きる力」となって、明日に、そしてその先の人生につながってほしい。

これからの社会が、どんなに変化して予測困難な時代になっても、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現してほしい。

そして、明るい未来を、共に創っていきたい。

2020年度から始まる新しい「学習指導要領」には、そうした願いが込められています。

これまで大切にされてきた、子供たちに「生きる力」を育む、という目標は、これからも変わることはありません。

一方で、社会の変化を見据え、新たな学びへと進化を目指します。

生きる力 学びの、その先へ

新しい「学習指導要領」の内容を、多くの方々と共有しながら、子供たちの学びを社会全体で応援していきたいと考えています。

主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)の視点から「何を学ぶか」だけでなく「どのように学ぶか」も重視して授業を改善します。

一つ一つの知識がつながり、「わかった!」「おもしろい!」
と思える授業に



見通しをもって、
粘り強く取り組む力が
身に付く授業に



周りの人たちと共に考え、
学び、新しい発見や豊かな
発想が生まれる授業に

自分の学びを振り返り、
次の学びや生活に生かす力を
育む授業に

学習指導要領 総則編より

主体的に学習に取り組む態度

自己の感情や行動を統制する力

よりよい生活や人間関係を自主的に形成する態度

自分の思考や行動を客観的に把握し認識する、いわゆる「メタ認知」に関わる力

多様性を尊重する態度や互いのよさを生かして協働する力

リーダーシップやチームワーク、感性、優しさや思いやり

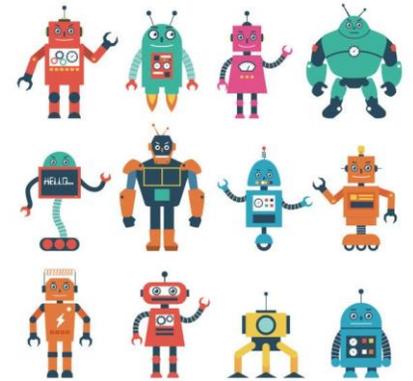
なぜ非認知能力を育てないといけないの？

これからの時代 ➡ 変化の激しい時代

今の未就学児が就職する頃には、65%の人が今存在しない仕事に就く、と言われている。

認知能力が高くても、知識重視だけでは
(漢字を多く書ける、計算がとても速いなど)

AIが代替できる
部分が多い



今の子供たちが生きるこれからの時代

激しい変化を受け止め、人間にしかない感性を働かせて人生を豊かにしていくことが求められる時代

社会でよりよく生きるために必要な能力

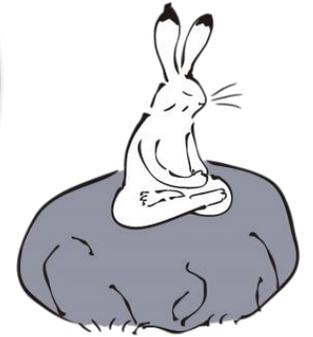
ただし、発揮しすぎにも注意!

協調性



発揮しすぎると、自分の意見を言わず、何でも相手の意見に合わせしてしまうかもしれない。

忍耐力



発揮しすぎると、つらいことに耐えるばかりで、改善することができなくなるかもしれない。

岡田先生, 坂井先生に聞きたい☆

非認知能力を育てる価値や最近の動向について、
どう捉えられていますか？

3 非認知能力を発揮している姿って？

学校生活では,どんな姿を思い浮かべますか？

子供の姿と発揮している力をチャットに入力してみてください。

共感性

協調性



忍耐力

粘り強さ

社交性



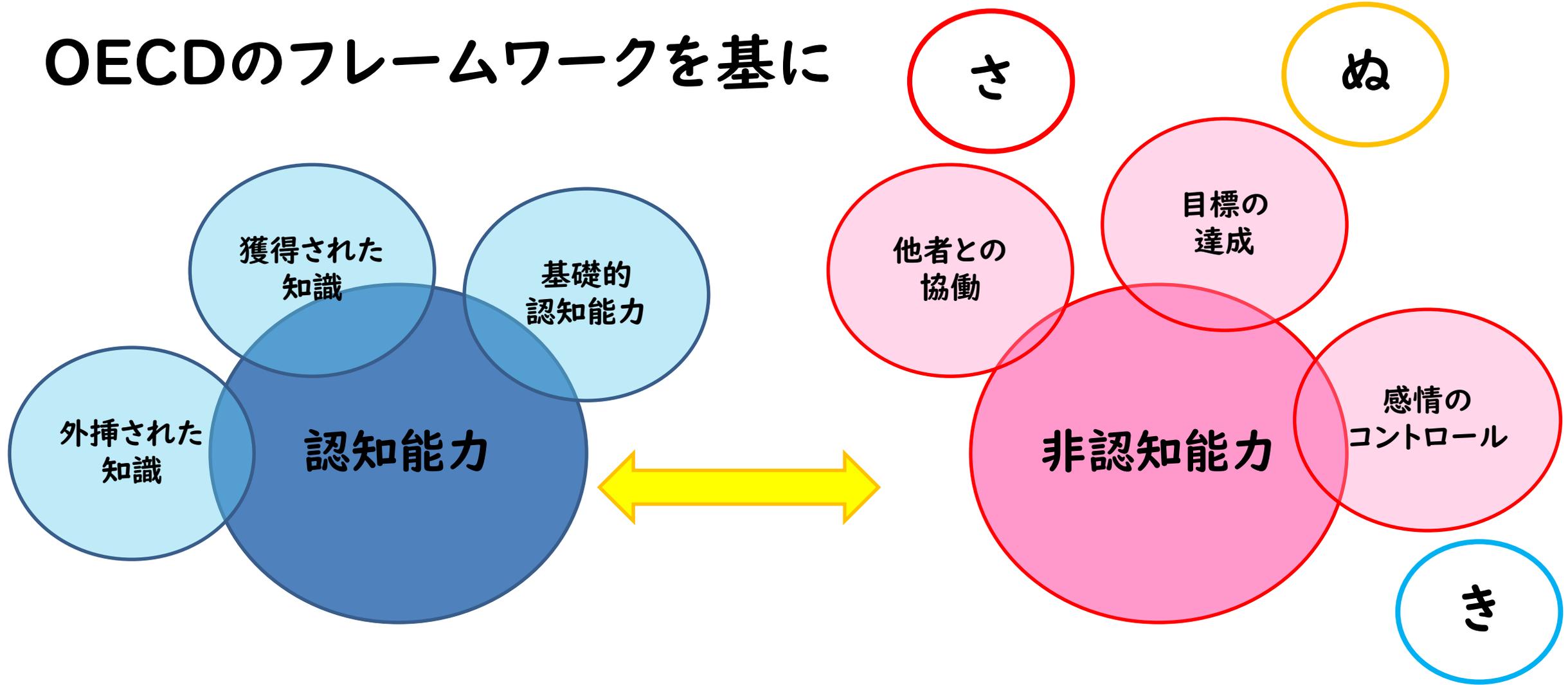
など。これ以外の力でもOK

岡田先生, 坂井先生に聞きたい☆

実際の子供の姿で, 印象に残っている子供の姿を
教えてください。

本校の研究について

OECDのフレームワークを基に



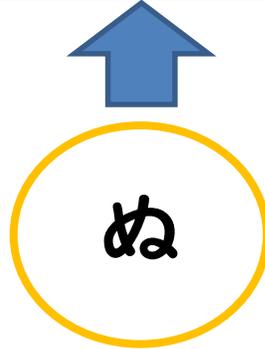
自ら伸び続ける子供



さ

さっする力

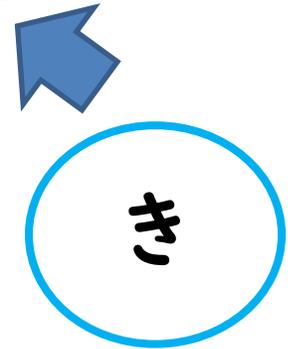
相手の立場に立って
他者と協働する力



ぬ

ぬり替える力

目標の達成に向けて
粘り強く取り組む力



き

きもちを整える力

感情をコントロールし、
前向きに取り組む力

「さ・ぬ・き力」が育まれることで、
自ら伸び続ける子供につながる。

アンケートのお願い

ご参加いただいた皆様の声を基に、今後のワークショップをより充実させていきたいと考えております。

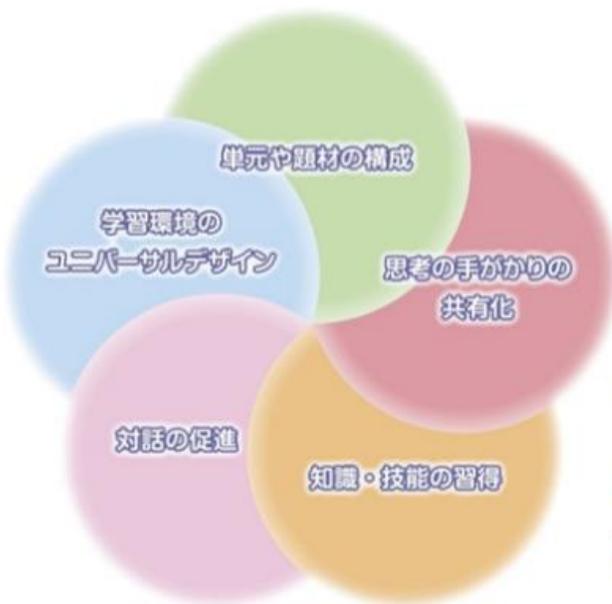
チャットにありますURLより、アンケートにご協力ください。忌憚のないご意見をどうぞよろしくお願いいたします。



さらに深く学びたい方へ

本校研究図書のご案内

全218
ページ
フルカラー



授業を変える

5つの視点

香川大学教育学部附属坂出小学校 刊行物案内

ワークショップご参加特別価格
期間限定特別価格 (令和5年2月28日まで)

~~2000円~~ → 1800円

サンプルページは裏面または本校ホームページより
ご覧になれます。お申込用 FAX はこちらから



書籍購入 QR コード

授業改善の第一歩をこの1冊から

授業づくりで大切なことを5つの視点としてまとめました。それらの視点がなぜ大切なのか、また、それぞれの視点について授業の中でどのように働きかけるのかを、実践事例に沿って具体的に示しています。すぐに授業づくりに活用できるように、すべての実践事例において、単元及び題材計画と板書写真、子供たちの様子が伝わる写真や表現物を掲載しています。さらに、実践事例に加え、元教科調査官(道徳)七條正典先生や香川大学坂井聡先生など大学の先生方から専門的なコメントをいただき掲載しております。より詳しい内容を知りたい方は、本校ホームページよりご覧ください。



本校ホームページ

見やすく
分かりやすい
誌面構成

具体的な
発問

カラー
アイコン

働きかけの
詳細

板書記録

その他「各教科のQ&A」「ちょっとひと工夫」など、お役立ち情報をたくさん掲載しています。

UD 事前の質問紙調査の結果から、友達を「許せなかった」「許せなかった理由」のある人数をグラフで表し、視覚的に拡大や縮小するとともに、それぞれの理由も表示し、違う立場の友達がいることや、同じ立場でもその理由には多様性があることに気付かせます。

UD 心メーターは、微妙な心の揺れ動きを色の割合で表現できる道具です。

学習活動3 教材本文を読み、ゆきえさんを許せるかどうかを再度心メーターに表し、活動2から変化させた理由を話し合う

対話 「許せる」「許せない」の2つの気持ちを持ちは対立軸として縦書きに示します。再度、各自の心メーターに気持ちを表し、心メーターが動いた子どもには横書きの名刺磁石を移動させます。こうすることで、互いの考えの異同が明確になり、相互に聞いてみたいという思いを高め、対話が活性化します。

対話 「許せる」「許せない」の2つの気持ちを対立軸として縦書きに示します。再度、各自の心メーターに気持ちを表し、心メーターが動いた子どもには横書きの名刺磁石を移動させます。こうすることで、互いの考えの異同が明確になり、相互に聞いてみたいという思いを高め、対話が活性化します。

学習活動4 本時を振り返り、まとめをする

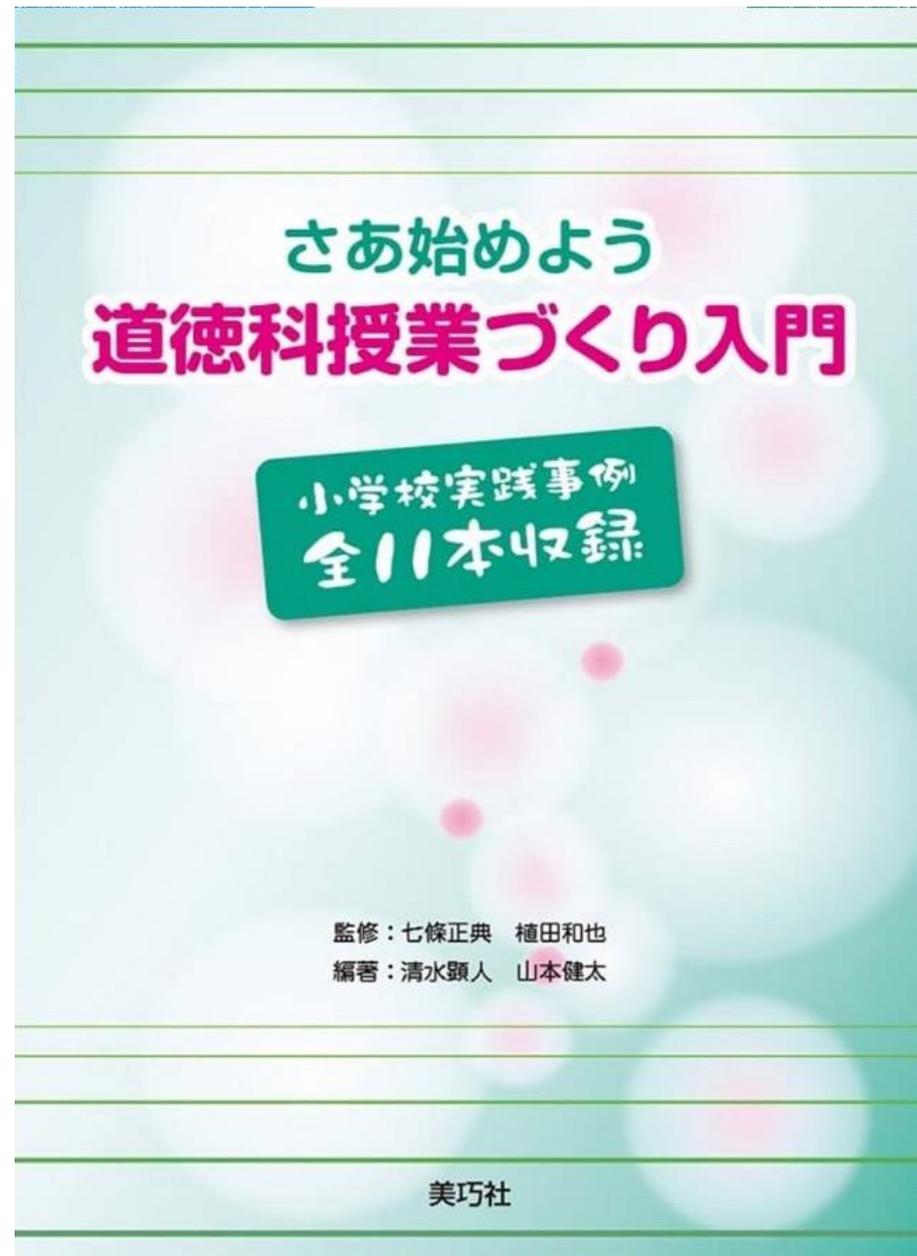
「相手の気持ちを思いやる」とはどういうことですか。

「思いやりのある行動」とはどういう行動ですか。

相手の気持ちに気付いて、お互いが笑顔になれる行動をすることです。

さらに深く学びたい方へ

道徳の参考図書のご案内



第1章

道徳科の授業づくり基礎・基本

- 1 「道徳教育の目標」と「道徳科の目標」を確かめよう
- 2 道徳科で大切にしたい学習を理解しよう
- 3 内容項目を深く理解しよう
- 4 教材を読み込み、中心的な発問と基本発問を考えよう
- 5 学習指導案を作成しよう
- 6 指導方法を工夫しよう
- 7 評価について理解しよう
- 8 家庭や地域に発信しよう



第2章

さらなる充実を目ざして

- 1 若手教員に向けてのメッセージ
- 2 子どもたちの問いから始まる授業
- 3 子どもの自己評価や相互評価を、教師が行う評価に生かす
- 4 若年研修の在り方・授業研究の工夫
- 5 メタ認知を促す授業づくり
- 6 道徳科の授業を支える学級経営



第3章

「特別の教科 道徳」の授業事例 (小学校)

- 【低学年】
 - 1 およげないりすさん
 - 2 ないた赤おに
 - 3 黄色いベンチ
- 【中学年】
 - 4 絵葉書と切手
 - 5 心と心のあくしゅ
- 【高学年】
 - 6 スランコ乗りとピエロ
 - 7 ロレンスの友達
 - 8 銀のしよく台
 - 9 道子さんに出したバス
 - 10 のりづけされた詩
 - 11 友香のために (モラルジレンマ教材)



わくわく授業づくりワークショップのご案内

香川大学教育学部附属坂出小学校

令和4年度 わくわく授業づくり ワークショップ

共催：香川大学教職大学院・松輪会坂出支部

子供がときめく学びを
一緒に考えましょう！

参加費
無料

対面研修
オンライン
併用

学校単位
での参加
歓迎

途中参加
途中退出
OK

本校では、平成30年度から計23回にわたって授業づくりワークショップを行ってきました。

今年度は、年間5回、対面での研修会（第1・4回はオンライン併用）を行いたいと思います。各回の具体的な内容は、開催の約3週間前にお知らせいたします。申込は、裏面にあるQRコードからGoogleフォームにてお願いいたします。オンラインで参加される場合は、開催日前日までに「入室用IDとパスワード」をお伝えします。

昨年度の様子はこちらから
ご覧ください



香川大学教授
本校校長 坂井 聡

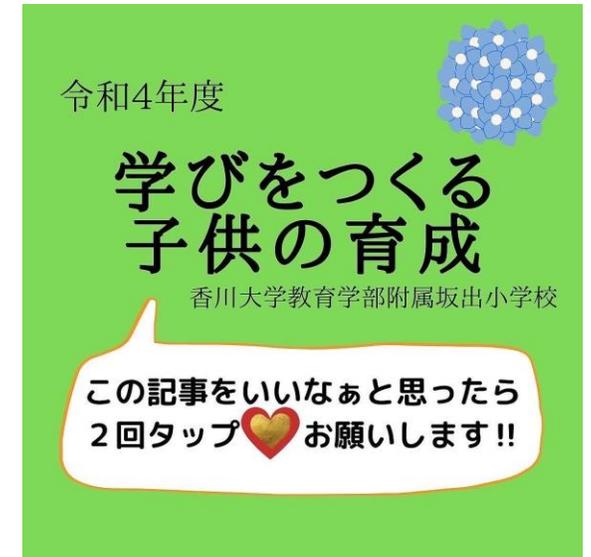
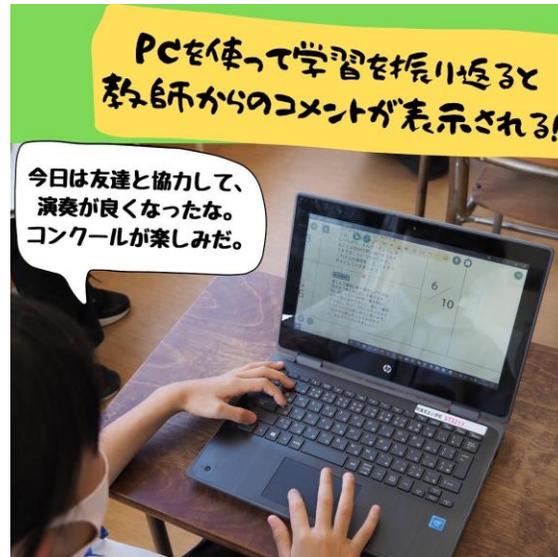
©新型コロナウイルス等の影響により、中止または変更する場合があります。その際は、本校HPにてお知らせいたします。お申込いただいた方には、直接メールいたします。



2	8月19日(金) 15:00~16:30	A:国語科 国語科の言語活動の設定や単元づくり、教材研究を一緒に行いましょう。	B:算数科 子供が学びを深めていける問いづくりを一緒に行いましょう。	C:社会科 3-4年生の地域教材の資料を収集したり、加工したりしてみましょう。	
	QRコード 対面のみ				
3	8月26日(金) 15:00~16:30	A:体育科 単元構成や教材・教具について、実技を通して考えましょう。	B:音楽科 「学び」と「楽しさ」を両立した活動を一緒にやってみましょう。	C:図画工作科 教材づくりや、作品の鑑賞を一緒にやってみましょう。	D:家庭科 簡単なのに本格的！ミシンでの制作を体験しませんか？
	QRコード 対面のみ				

申込はHPからできます♪

本校Instagramのご案内



令和4年度 附属坂出小学校 教育研究発表会

第103回 教育研究発表会 1次案内

 香川大学教育学部附属坂出小学校

令和**5**年**1**月**27**日(金)

自ら伸び続ける子供の育成
(2年次)



個に応じて、
「**さ・ぬ・き力**」(非認知能力)を
育てる環境づくり

公開授業

国語 社会 算数
理科 音楽 図画工作
体育 道徳
保健室経営 (実践提案)

全16本

講演

演題：「OECD Education2030
プロジェクトが描く教育の未来」

講師：文部科学省国際統括官付
国際戦略企画官
国立教育政策研究所フェロー

白井 俊 先生 

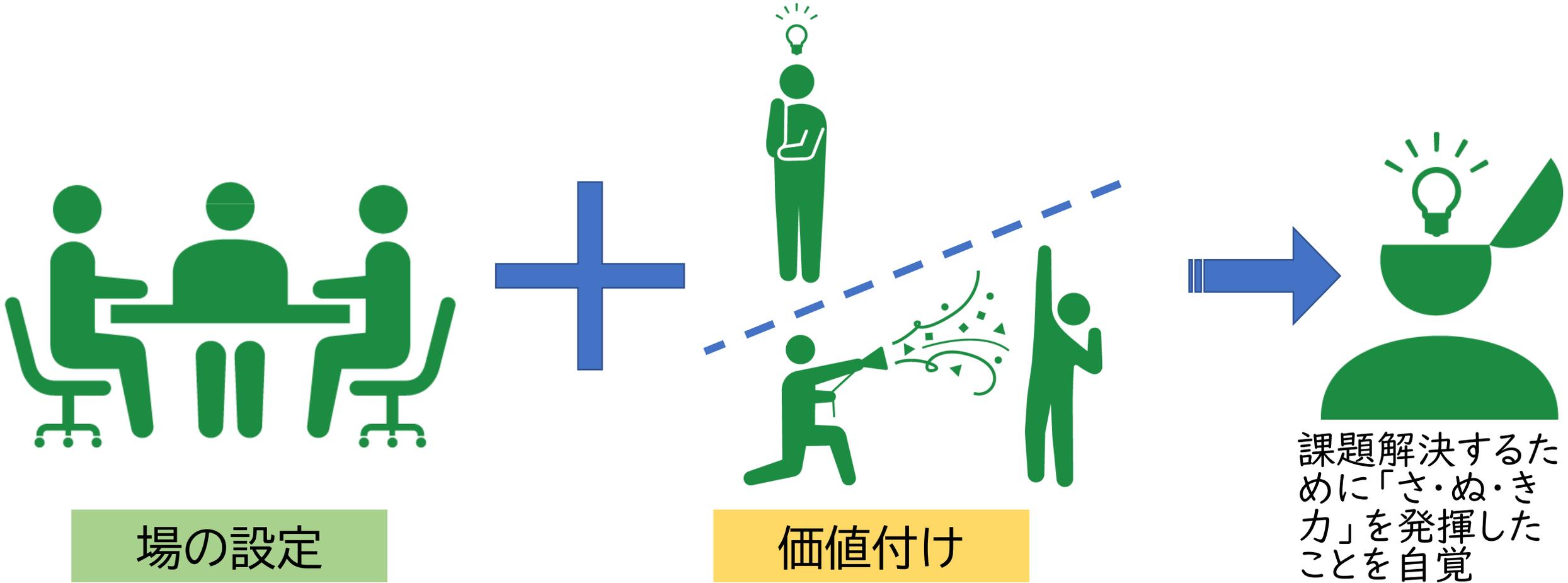
令和5年1月27日(金) 1日開催



お会いできるのを
楽しみにしております。

「さ・ぬ・き力」を発揮させるための働きかけの具体

基本的な考え方

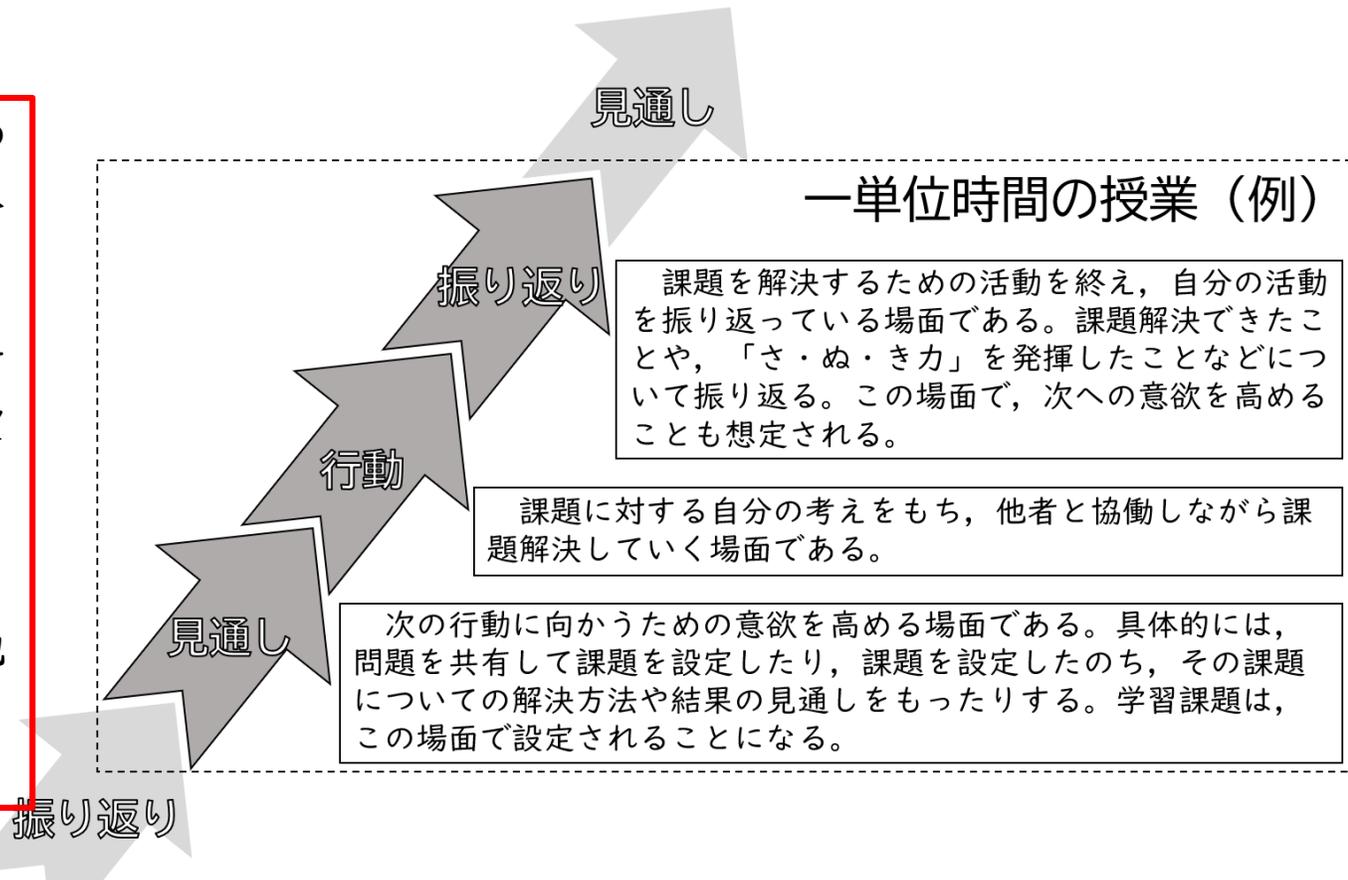


場の設定 = 「さ・ぬ・き力」を発揮できる、 しやすい活動や場所、教具を用意する。

- イ「ぬ力」（目標に価値を感じ、粘り強く試行錯誤する力）のポイント
- 目標が自らにとって価値があることに気付けるようにする。
 - 多様な考え方で課題解決に取り組むことができるようにする。

「さ力（進んで人と関わり、多様な考えを受け入れる力）」のポイント

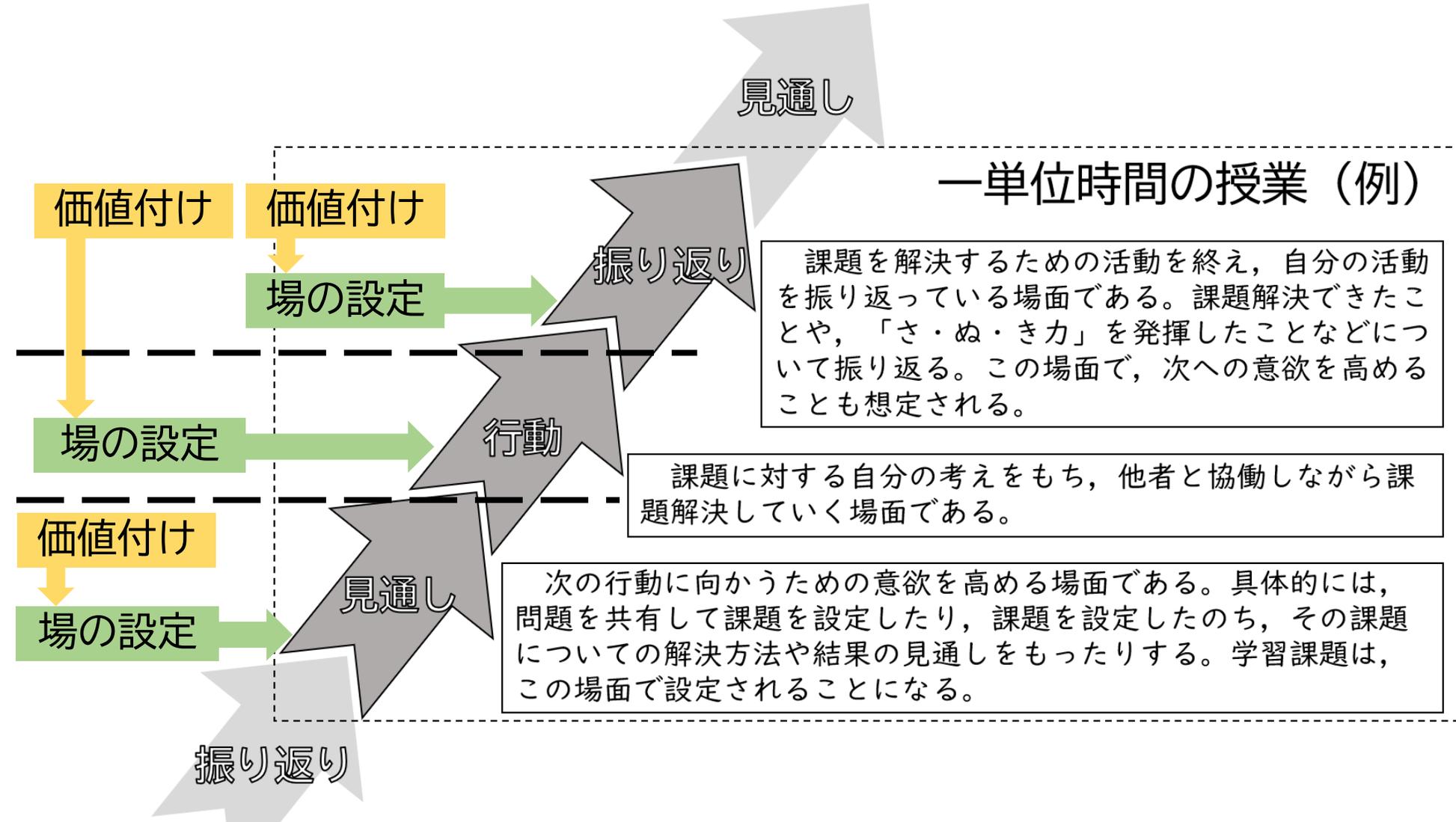
- 多様な考えがあることを捉えさせ、自他の考えやその理由を比べ、受け入れることができるようにする。
- 共感性を発揮させるために、他者のために他者の視点から考えられるようにする。



ウ「き力」（自分にはできると信じることで、前向きに取り組む力）のポイント

- 自分に合った解決方法を選択したり、成功体験を想起したりすることができるようにする。
- 失敗を肯定的に捉え直したり、どこをどのように直せばよいかを意識できるようにする。

価値付け = 「さ・ぬ・き力」を発揮したこと、 そのよさに気付かせる



ポイント1
「さ・ぬ・き力」を発揮していることに気付かせるために、なるべく具体的な姿を言語化して積極的に伝える。

ポイント2
「さ・ぬ・き力」の発揮によって、各場面の目的の達成につながったことを称賛したり、共感したりする。

非認知能力を発揮させるための方法を考えてみましょう

子供たちが**社交性**を発揮する

(よりよい考えを求めて、進んで人と関わる) ために
できそうなこと、今やっていることについて
教えてください。

参加者の皆様から



さ力（他者と協働する力） 社交性・協調性



多様な考えがあることを捉えさせ、自他の考えやその理由を比べ、受け入れることができるようにする。

場の設定

- 時間の制限に注意（一人と長く話をする人数は少なくなる）
- 話し合っている様相をしっかりと見取る必要がある
 - ・自分から積極的に対話しているか
 - ・受け答えしているだけではいけない
 - ・自分から発信しているか
 - ・誰とでも関わるのが難しい場合には配慮が必要

価値付け



見通し	多様な考えがあることを捉え、自他の考えやその理由を比べ、受け入れることで、	問題を共有して課題を設定したり、解決方法や結果の見通しをもったりできたことを	称賛したり共感したりする。
行動		課題に対する自分の考えをもち、他者と協働しながら課題解決できたことを	
振り返り		自分の学習の成果や学び方のよさを捉えたり、次の目標などを見いだしたりできたことを	

さ力（他者と協働する力） 社交性・協調性



第6学年 国語科

主張に説得力をもたせる工夫を見付けよう～『笑うから楽しい』『時計の時間と心の時間』～

行動場面

場の設定

筆者の論の進め方
に対するそれぞれの
考えを一覧で見られ
るようにし、考えたこ
とを自由に交流する
時間を設ける。



みんなはどんなふう
に考えたのかな。誰
に聞きに行こうかな。



こう考えた理由を
教えて。

考えを書いたカードを学習支援アプリで一覧しながら、自分とは異なる考えを書いている友達と交流することで、多様な考えに触れ、理解を深めたり、自分の考えに自信をもったりしていった。

さ力（他者と協働する力） 社交性・協調性

行動場面



第6学年 国語科

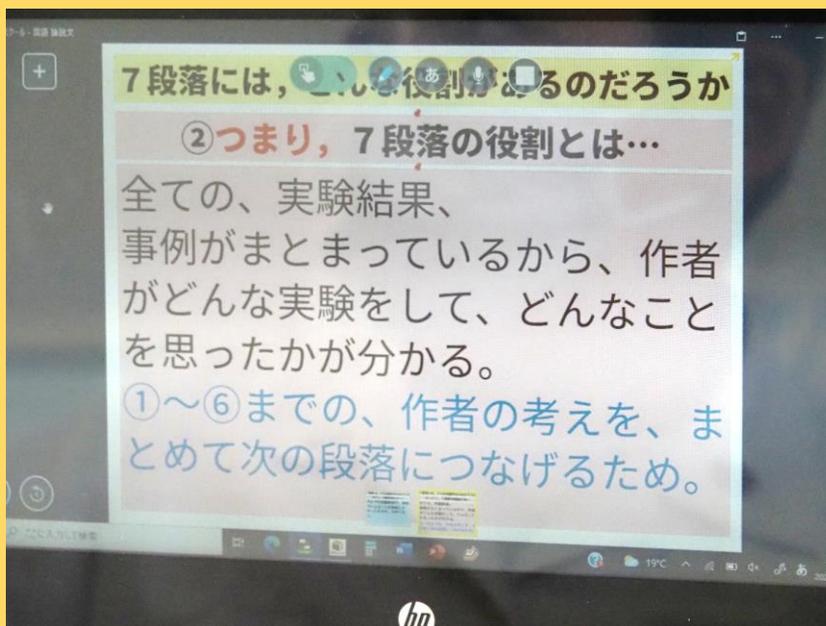
主張に説得力をもたせる工夫を見付けよう～『笑うから楽しい』『時計の時間と心の時間』～

価値付け

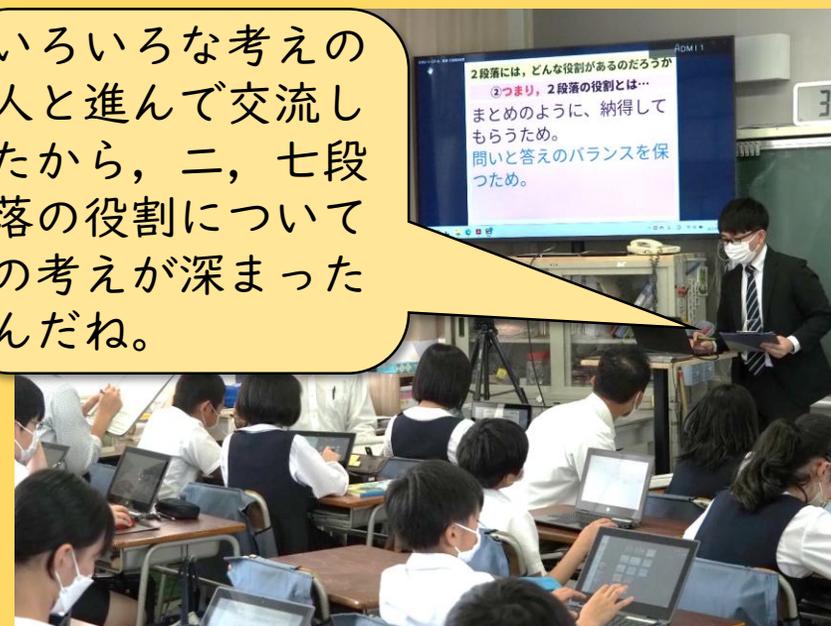
行動

いろいろな考えの友達と進んで交流したことで、論の進め方についての理解が深まったことと感じている姿に共感する。

自由に交流した後、論の進め方について再考し、考えが変わったり付加されたりしたところを加筆する時間を設ける。



いろいろな考えの人と進んで交流したから、二、七段落の役割についての考えが深まったんだね。



さ力（他者と協働する力）共感性



他者のために他者の視点から考えられるようにする。

場の設定

- 共同体意識を高める
- ・SST, 授業の中でも醸成(教師の明示的な指導→互いに褒め合う関係をつくる)
- ・集団での活動(行事ごと)の繰り返し
- ・他者の気質の理解

価値付け



見通し	他者のために他者の視点から考えることで、	問題を共有して課題を設定したり, 解決方法や結果の見通しをもったりできたことを	称賛したり共感したりする。
行動		課題に対する自分の考えをもち, 他者と協働しながら課題解決できたことを	
振り返り		自分の学習の成果や学び方のよさを捉えたり, 次の目標などを見いだしたりできたことを	

さ力（他者と協働する力）共感性



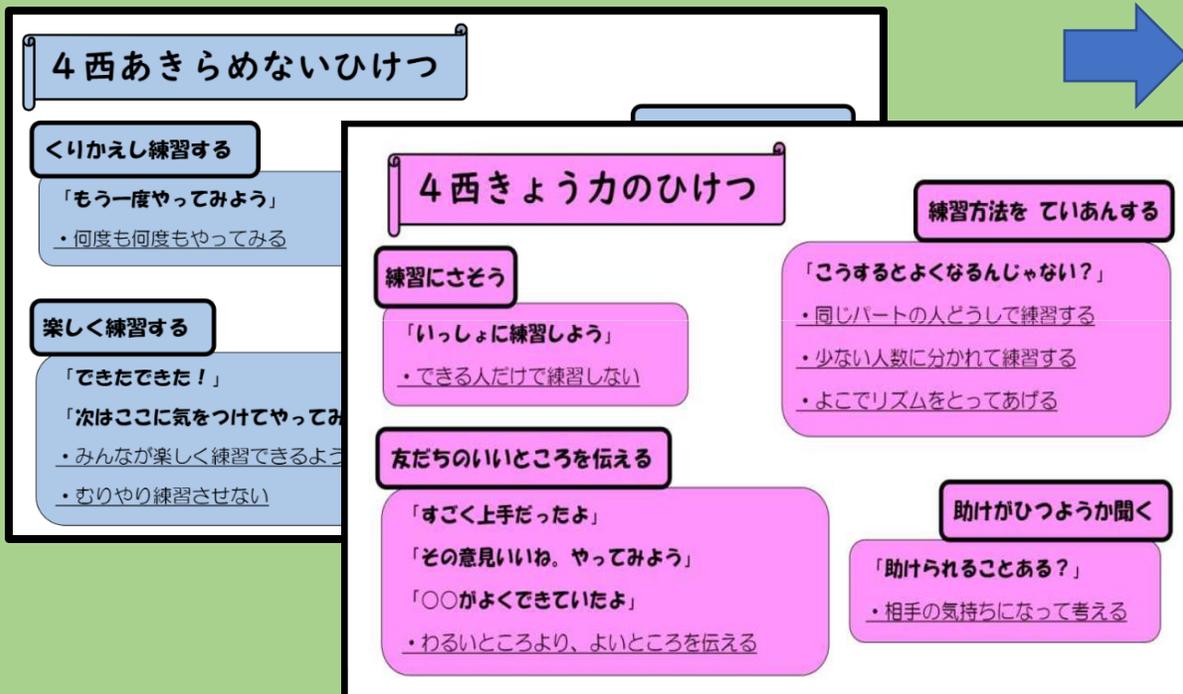
第4学年 音楽科

音と気持ちを合わせて ～『ラ クンパルシータ』～

行動場面

場の設定

声かけの話型や練習の例を複数示し、友達の状況に合わせてながら助け合って練習に取り組めるようにする。



鍵盤をたたくようにしたら弾む感じになるよ。ゆっくりでいいよ。

演奏をよりよくするために大切なことを子供たち自身が考えてまとめたもののなかから、「ゆっくり練習してみる」という練習方法や、「一緒にやろうよ」という話型の中から友達の状況に合ったものを選び、練習に取り組んでいった。

さか（他者と協働する力） 共感性

行動場面



第4学年 音楽科

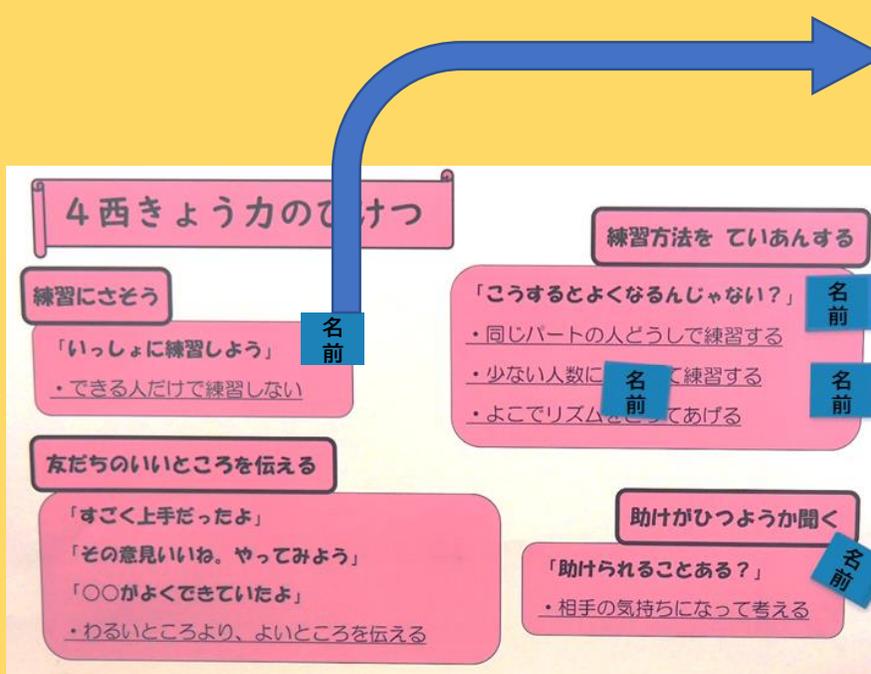
音と気持ちを合わせて ～『ラ クンパルシータ』～

価値付け

行動

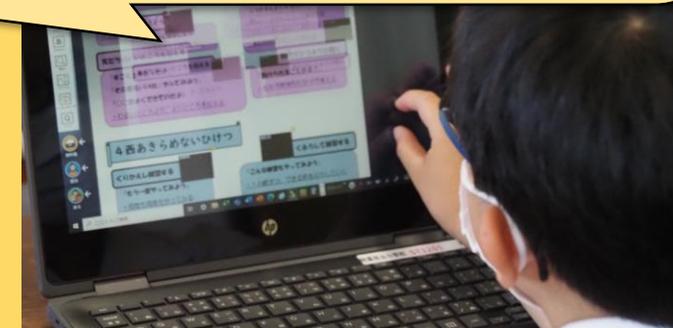
友達の立場に立って声をかけ、一緒に練習に励むことで完成度が高くなったことを、教師の用意したコメントを見せることで称賛する。

自分たちで考えた演奏をよりよくするために大切なことを、練習前に選んでおき、それができたかどうかを判断する時間を設ける。



友達を練習に誘えたということは、友達の気持ちを考えてあげられているということです！

誘ってもらった友達は、きっとあなたに「ありがとう」という気持ちでいっぱいだと思いますよ。これからも「協力の秘訣」を使って、演奏をよくしていきましょう！



ぬ力（目標の達成に向かう力） 目標への情熱



目標の達成が自らにとって価値があることに気付けるようにする。
 価値＝興味価値, 獲得価値・有用性価値

場の設定

○コストに注意!!

- ・努力コスト 「自分は課題解決するには、○○をしなければならないな」
- ・心理コスト 「失敗したらどうしよう」
- ・機会コスト 「勉強をやめたら、外で遊べるのにな」

価値付け



見通し	目標の達成が自らにとって価値があることに気付くことで、	問題を共有して課題を設定したり、解決方法や結果の見通しをもったりできたことを	称賛したり共感したりする。
行動		課題に対する自分の考えをもち、他者と協働しながら課題解決できたことを	
振り返り		自分の学習の成果や学び方のよさを捉えたり、次の目標などを見いだしたりできたことを	

ぬ力（目標の達成に向かう力） 目標への情熱

学習者にとっての価値 その1

興味価値 = 問いが知的に面白い

例えば…

- ・「誠実に生きるとはどういうことだろう」
- ・「糸を変えると、声の聞こえ方はどう変わるのだろうか」

今で考えたことがない。
知らなかった。

新奇性

AともBとも考えられる。

多様性

分かりそうで分からない。

適度な
困難度

これらの要素を一つ以上含むようにする

ぬ力（目標の達成に向かう力） 目標への情熱



第5学年 社会科

開拓民が拓き、厳しくも豊かな自然が観光客を惹きつける北海道の人々の暮らし

見通し場面

場の設定

北海道の人々の生活に関して学んだことから生じる疑問や疑問に思った理由を全体で確認し、興味を感じやすくする。

北海道の農水産業と同じくらいの収入が、観光業一つにあるのが不思議です。



北海道には、広い土地や夏でも冷涼な気候、豊かな北の海を利用して、全国一位の農水産業が発展していることを確認した。農水産業と同じくらい観光業が発展していることから、観光業の発展の理由に対して感じる疑問を発表し、全体で共有していった。

ぬ力（目標の達成に向かう力） 目標への情熱



第5学年 社会科

開拓民が拓き、厳しくも豊かな自然が観光客を惹きつける北海道の人々の暮らし

見通し場面

価値付け

見通し

疑問に思うことやその理由を言葉にできた姿やそれを聞いて共感しているなど、本時の課題が明確になっている姿を称賛する。

前時までの既習事項から感じる疑問を述べた子供の発言に対し、うなずくなどの肯定的な反応をしていることに気付かせておく。



発言している子供

反応している子供

自分が感じた疑問を言葉にしたり、友達の意見を聞いたりすることで、疑問に思うことがはっきりしましたね。



ぬ力（目標の達成に向かう力） 目標への情熱

学習者にとっての価値 その2

獲得価値
有用性価値

=自分や社会にとってどのような価値をもつか
理解する

例えば…

- ・「この学習課題を達成すると、みんなにとって、どんないいことがあるの」
- ・「これを解決できると、~~になるね」
- ・目標を達成した際の姿を掲示しておく。

発問

助言

話合い

など

問いが出た後，問いのもつ，自分や社会とのつながりを意識させる

課題を解決することが，自分を高める
→自己の成長とのつながりを意識させる

課題を解決することが，生活を豊かにする
→日常生活や社会とのつながりを意識させる

ぬ力（目標の達成に向かう力） 目標への情熱



第2学年 国語科

絵を基に、出来事の内容や順序を考えて、物語を書こう

見通し場面

場の設定

単元のゴールと学習計画を確認し、課題設定の理由を問うことで、ゴールと本時とのつながりを感じやすくする。

解決場面を考えると、できたら、自分のお話をつくることができます。



前時にしたことと、今日したいことを、学習計画と単元のゴールを示した補助黒板を使って確認した。本時の活動が、「お話の途中が違う物語を書いて、図書室に2西コーナーをつくろう」という単元のゴールにつながることを全体で確認した。

ぬ力（目標の達成に向かう力） 目標への情熱

見通し場面



第2学年 国語科

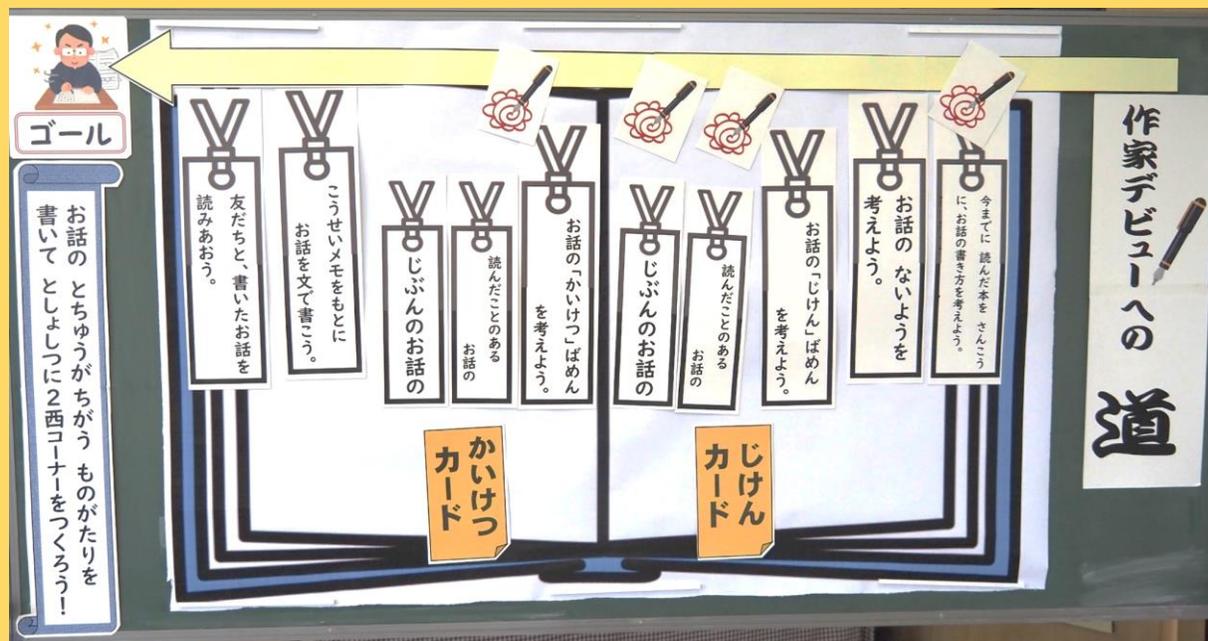
絵を基に、出来事の内容や順序を考えて、物語を書こう

価値付け

見通し

単元のゴールを意識して課題解決の価値を感じ、本時の課題設定の理由を言葉にしたり、友達の発言に対して納得したりしている姿に共感する。

「始め」と「終わり」は共通で、「中」の部分だけを想像して物語を書き、図書室に掲示するという単元のゴールを設定し、そのための学習計画を単元の一時間目に子供たちと一緒にしておく。



ゴールを意識して、今日したいことを考えることができているね。



非認知能力を発揮させるための方法を考えてみましょう

子供たちが粘り強さを発揮する

（多様な考えで，試行錯誤する）ために
できそうなこと，今やっていることについて
教えてください。

参加者の皆様から



ぬ力（目標の達成に向かう力）粘り強さ



場の設定

多様な考え方で取り組むことができるようにする。

○試行錯誤することで、多様な考え方を生み出す。

※考え方は、図画工作科などにおける自分の表現物や体育科などにおける自分の動きを含む。

価値付け



見通し	多様な考え方で取り組むことで	問題を共有して課題を設定したり，解決方法や結果の見通しをもったりできたことを	称賛したり共感したりする。
行動		課題に対する自分の考えをもち，他者と協働しながら課題解決できたことを	
振り返り		自分の学習の成果や学び方のよさを捉えたり，次の目標などを見いだしたりできたことを	

ぬ力（目標の達成に向かう力）粘り強さ



第5学年 算数科

割り算の世界を広げよう ～『小数のわり算』～

行動場面

場の設定

自分の考えと同じ考えのグループで話し合った後、ほかの考えの人同士が集まり、それぞれの考えを説明し合う場を設定する。



数直線で考えると...

割り算の性質では...



どの考えも、整数に直して計算しやすくしているところがないかな。

それぞれの考えを説明し合って、三つの計算の仕方について理解する場を設定した。何度も質問したり説明したりする中で、分かったことを式と数直線図とを関係付けながら整理し、それぞれの考えについての理解を深めていった。

ぬ力（目標の達成に向かう力）粘り強さ

行動場面



第5学年 算数科

割り算の世界を広げよう ～『小数のわり算』～

価値付け

行動

複数の考えを理解するために話し合いを行ったことが、よりよい考えを見付けることにつながったことを称賛する。

計算の仕方について説明し合っているときに、疑問を友達に問いかけていることや、ワークシートに記述している姿を称賛し、全体交流で三つとも整数の式に帰着して考えていることに気付かせた。

自分で説明できるように聞いているね。

友達に質問できているね。



疑問に思うことを聞いたり、友達から聞いたことをワークシートにまとめたりすることで、三つの計算の仕方について理解することができましたね。



ぬ力（目標の達成に向かう力） 忍耐力



場の設定

真面目に最後までやり通すことができるようにする。

- 活動が続けることで課題の解決につながることを保証する
- 課題とは直接関係のない部分で同じような活動を続けてしまうことがないよう注意

価値付け



見通し		問題を共有して課題を設定したり，解決方法や結果の見通しをもったりできたことを	
行動	真面目に最後までやり通すことで	課題に対する自分の考えをもち，他者と協働しながら課題解決できたことを	称賛したり共感したりする。
振り返り		自分の学習の成果や学び方のよさを捉えたり，次の目標などを見いだしたりできたことを	

ぬ力（目標の達成に向かう力） 忍耐力



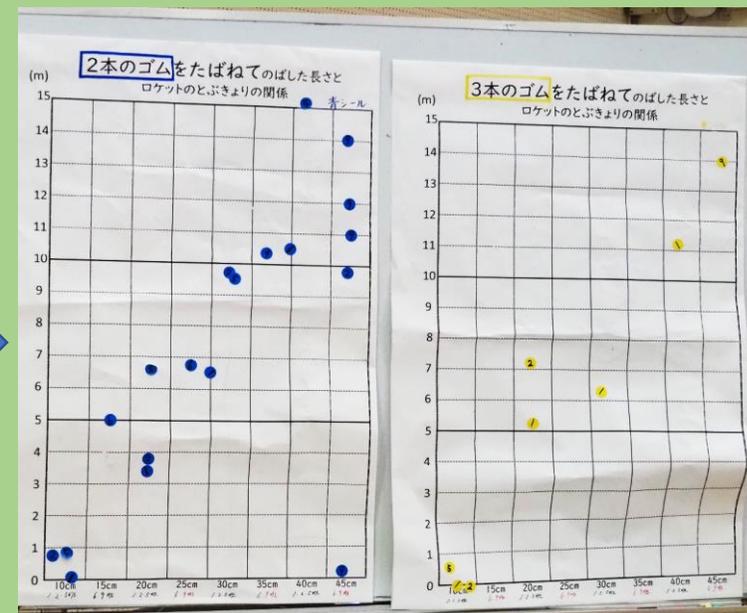
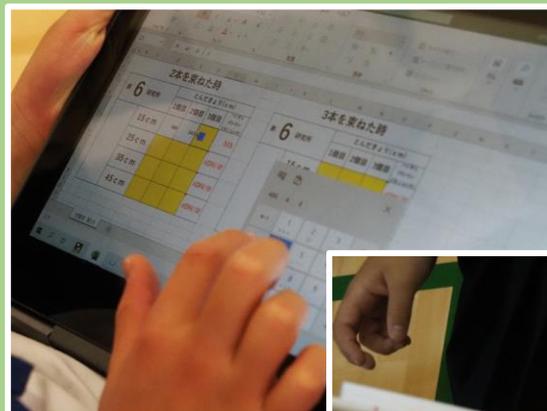
第3学年 理科

高得点をねらえ! ゴムゴムのロケット ~ゴムの力の働き~

行動場面

場の設定

ゴムの取り外しが容易にできるなど、効率よく正確に実験できる発射台を用意する。表計算ソフトを活用してデータを記録できるようにする。



簡単に操作できる発射台を用いてロケットの飛ぶ距離を測定し、表計算ソフトを用いて結果を記録していった。結果が入力されたところは色が変わるようにしておくことで、自分たちの実験の進み具合を視覚的に捉えながら、繰り返し実験に取り組んでいった。

ぬ力（目標の達成に向かう力） 忍耐力

行動場面



第3学年 理科

高得点をねらえ!ゴムゴムのロケット ~ゴムの力の働き~

価値付け

行動

たくさんデータを集めたことが課題解決につながったことを称賛する。

ゴムの太さを変えたとき、ゴムの数を変えたとき、それぞれの結果をまとめたグラフを基に、ゴムが太くなるほど、ゴムが元に戻ろうとする力が大きくなり、ロケットが遠くに飛ぶことを捉えさせた。

太いゴムを40cmのばしたとき、ロケットはとてもよく跳びました。そのとき、強い力じゃないとゴムを伸ばせませんでした。



みんなが繰り返し実験に取り組んで結果を集めたから、ゴムを太くしたり、数を増やしたりしたときにどうなるかが分かったね。

き力（感情をコントロールする力） 自分を信じる力



自分に合った解決方法を選択したり, 自分ができていることを客観視したりできるようにする。

場の設定

- 成功体験の想起
- ・見通し場面：本時までの課題解決の想起
- ・振り返り場面：本時の学習の成果の確認

価値付け



見通し	自分に合った解決方法を選択したり, 自分ができていることを客観視したりすることで,	問題を共有して課題を設定したり, 解決方法や結果の見通しをもったりできたことを	称賛したり共感したりする。
行動		課題に対する自分の考えをもち, 他者と協働しながら課題解決できたことを	
振り返り		自分の学習の成果や学び方のよさを捉えたり, 次の目標などを見いだしたりできたことを	

き力（感情をコントロールする力） 自分を信じる力



第2学年 図画工作科

カムカム紙カミワールド ～つないでつるして～

振り返り場面

場の設定

学習支援アプリで、自分のお気に入りの場所を写真と文章で記録した後、次にしたいことについてペアで伝え合う場を設定する。



紙カミワールドを見てもらえるようにしたいです。

自分がつくったお気に入りの場所の写真と、そこがお気に入りだと思った理由について、学習支援アプリに記録した。さらに、次にしたいことを話し合う際には、「ここまでつくってきたから、誰かに見せたいね」などと、したいことを見いだしていた。

き力（感情をコントロールする力） 自分を信じる力



第2学年 図画工作科

カムカム紙カミワールド ～つないでつるして～

振り返り場面

価値付け

振り返り

自分の頑張りを実感している姿や次にしたいことを見いだしている姿を称賛する。

紙カミワールドの制作に取り組む時間を複数時間設定することで、やりたいことをやりきることができたと感じられるようにする。

紙カミワールドを見てもらえるようにしたいです。



次にしたいことを考えられているね。まだまだ頑張れそうなんだね。



き力（感情をコントロールする力）レジリエンス



失敗を肯定的に捉え直させたり,どこをどのように改善すればよいかを意識したりできるようにする。

場の設定

- 課題を解決することができなかつたと感じている子供に働きかける
- 改善方法を意識できるようにするために
 - ・課題を細分化する
 - ・グループでの話し合いによって,別の解決方法を編み出す

価値付け



見通し	失敗を肯定的に捉え直したり,改善方法を意識したりすることで,	問題を共有して課題を設定したり,解決方法や結果の見通しをもったりできたことを	称賛したり共感したりする。
行動		課題に対する自分の考えをもち,他者と協働しながら課題解決できたことを	
振り返り		自分の学習の成果や学び方のよさを捉えたり,次の目標などを見いだしたりできたことを	

き力（感情をコントロールする力）レジリエンス



第6学年 理科

植物が生きていくために ～植物の体のはたらき～

振り返り場面

場の設定

実験がうまくいかなかったと感じている子供にどう改善したいと考えているのかを問いかける。

次は、どうしたい
と思っているの？



ここを塞ぐといい
と思う。

今回の実験だと、根から蒸散していても、ビーカーの口が開いているので、そこから水が出てしまう。次は、ビーカーの口をラップで塞ぐなどして、蒸発しないようにして実験したい。



根から蒸散するか実験で確かめようとした班に、「今回はうまくいかなかったと感じているようだけど、次はどうしようと思っているか」などと問うことで、実験を改善すれば自分たちが確かめようとしたことをはっきりさせることを意識させ、改善方法を導き出すことができた。

き力（感情をコントロールする力）レジリエンス



第6学年 理科

植物が生きていくために ～植物の体のはたらき～

振り返り場面

価値付け

振り返り

次にしたいと思っていること，その子供の前向きな姿勢を称賛する。

単元全体を通して，「次にしたいこととその理由」を書きためられるように，振り返りを一枚のワークシートに書けるようにする。振り返りを書く際には，個別に机間指導で話ができるようにする。



今日で分かったこともあるけど，まだ分かっていないことを確かめたいと思っていますよね。



うまくいかなかったと感じている班も，次は実験を改善してうまくできそうですね。

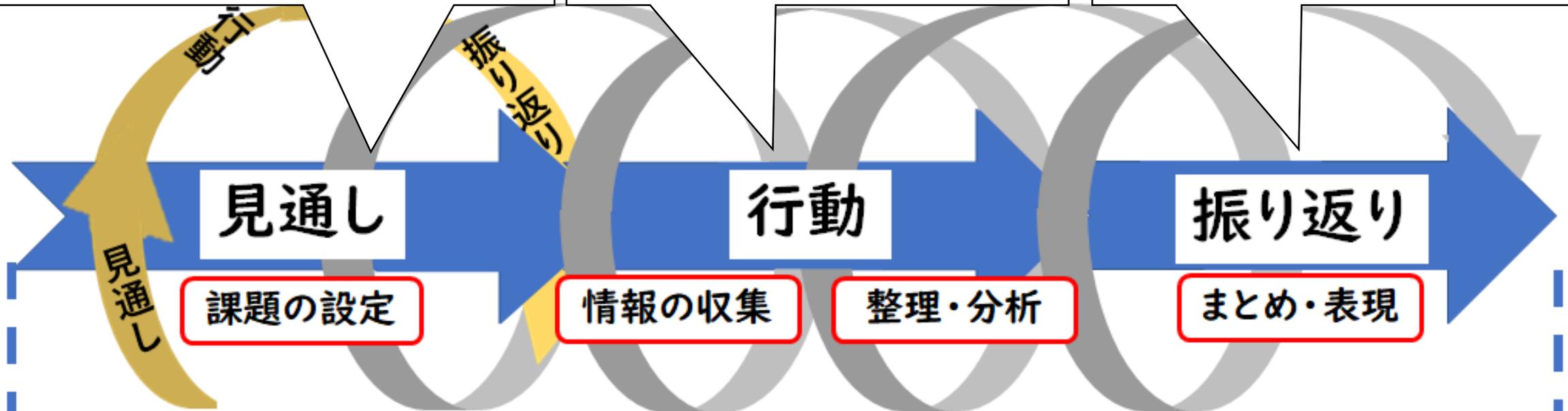
総合的な学習の時間

4年「特別支援学校の友達と仲良くなろうプロジェクト」

特別支援学校の友達との
オンライン交流会の計画

オンライン交流会への
準備, 実施

オンライン交流会を振
り返って,
次の取組を考える。



単元におけるAARサイクル

総合的な学習の時間

4年「特別支援学校の友達と仲良くなろうプロジェクト」

特別支援学校との関わりの希薄さや過去の4年生の取組から問題意識を生み、探究課題を設定, 方法を考える

特別支援学校について知るために, お話を伺ったり, 調べたりする

オンライン交流で仲良くなるためにできることを考え, 話し合って決定

それぞれの活動の準備, 練習, 交流会のリハーサルをする

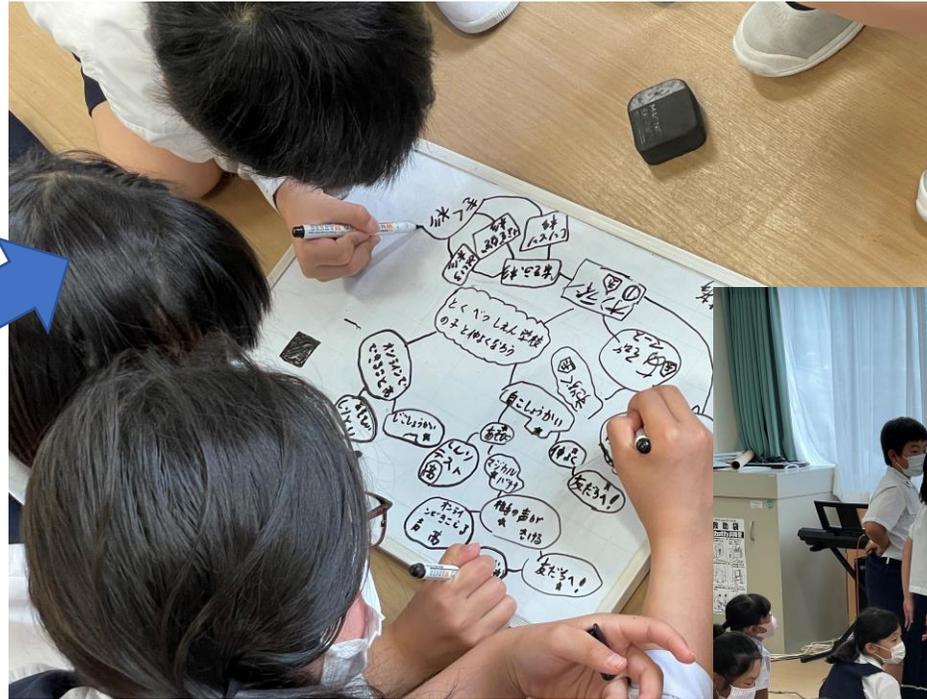
オンライン交流会を行う(各組で自己紹介, 歌, 手遊び)

交流会, それまでの取り組み方を振り返り, 次の見通しを共有する

もっと仲良くなりたいという思いを高め, 2回目の交流会へ

見通し

オンライン交流会を成功させようという意欲を高める



仲良くなれるように
何かをしたいという
意欲をもつ



自分たちでやりた
い気持ちをもって取
り組んでいることを
称賛

関係が希薄になっ
ていることの確認

オンライン交流会でど
のようなことができるかを
話し合う

行動

オンライン交流に向けての情報を集める



自ら行動し、話を
聞くことができた
という実感

事前の教員同士の
打ち合わせ

自ら考えたことを実行したことがみ
んなの役に立ったことを称賛

行動

オンライン交流会の準備

友達と話し合う
助け合う

折り合いを付
けて、決める

相手により伝わる
ようにするには？



自己紹介カードの作成



取り組んでいくことを考
え、練習

当日の見通し
交流の流れ確認

相手のことを
考えて、追究
する姿を称賛

進んで友達と関わったり、話し
合ったりする中で、よりよい解決
方法を見付けている姿を称賛

行動

オンライン交流会



交流の環境設定



相手により伝わるように

思いっきり楽しむ

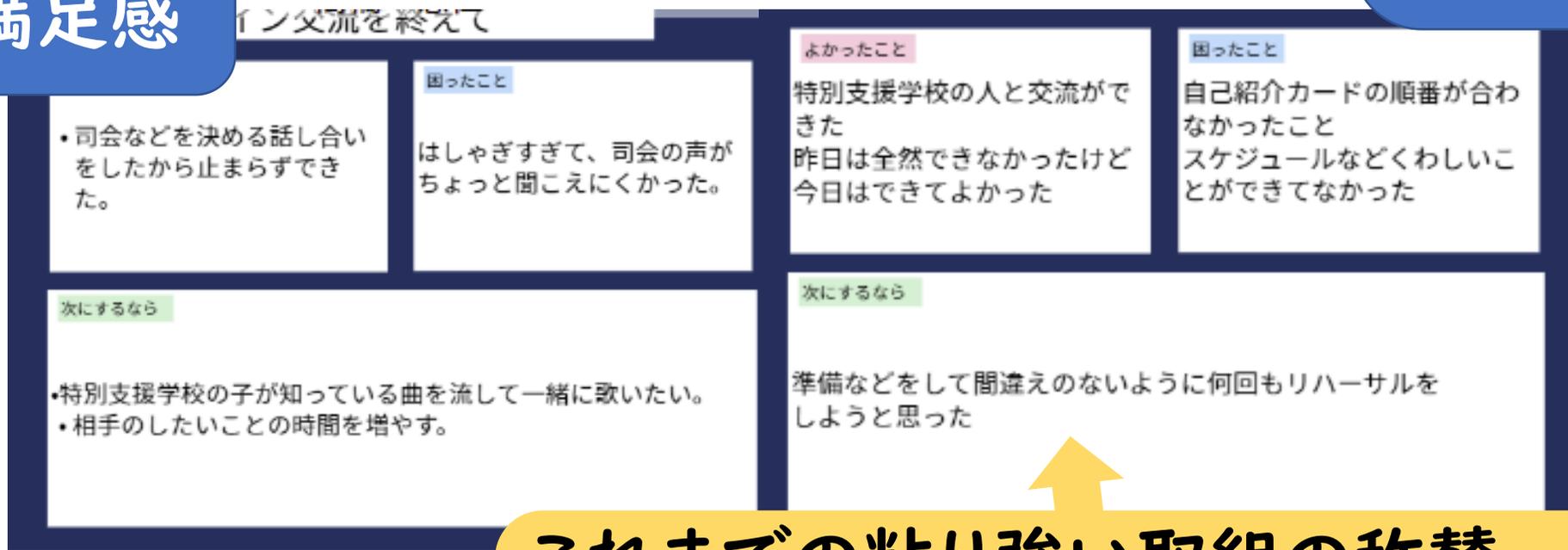
相手の立場に立って話したり、一生懸命に取り組んだりしたことで相手が喜んでくれたことを称賛

振り返り

オンライン交流会の成果と課題を見つめる

次への課題を発見し、やってみようとする

相手が喜んでくれていた満足感



交流の様子を可視化
交流を再度行える設定

これまでの粘り強い取組の称賛
失敗を前向きに捉えて、具体的に次にしたいことを考えている姿を称賛

2回目の交流会へ向けて



非認知能力を発揮させるための方法を考えてみましょう

総合的な学習の時間で、
子供たちが非認知能力を発揮しているなど感じる瞬間は
どんなときですか？

参加者の皆様から

